

市民の声



川辺町本別府

川原 大地

南九州市生まれ南九州市育ち。県外の企業を退職しUターンしてからもうすぐ6年が経ちます。Uターンした理由としては家業である建設会社を継ぐため。もう一つは生まれ育った地元に住みたいとの思いから。

私の会社がある地域は高齢者が多く限界集落とも言われていますが、最近では光回線の整備が決定され、事業を行っている人やこれから起業を考えている人にとっては大

きな励みになっています。また、森の学校を活用した新たな観光資源の創出も進められているようです。

そんな中、長年頭を悩ませていたもの、それはゴミのポイ捨てです。

川辺町本別府地区には個人商店以外のコンビニやスーパーは一軒もありません。それなのに道路の両側はいつもゴミが投棄され、通る方々を不快な気持ちにさせています。

社用車にひばさみとゴミ袋を常備して業務の合間に拾う活動をしていますが、一週間ほどですぐに元通りのいたちごっこが続いています。市街地や大通りではそのような光景は見かけません。人の目がある場所には捨てないけれども、誰も

見ていない山間部には捨てる。ポイ捨て防止の看板を立てても効果は薄いように感じます。

思いやりの心がない人はいないと思います。地域の人、その土地の所有者、道路を利用する人。捨てる人がその人たちを思いやることができればポイ捨てはなくなると思っています。

「思いやりの心を育てる」簡単なことではないでしょうが、それができたなら皆が好きな、皆が住みたい南九州市になるはずです。南九州市が好きな者の一人として、できることを一つずつ。

◆教育委員会委員◆

平成31年1月7日で、前任者が任期満了となるため、後任として大迫雅彦氏を南九州市教育委員会委員に任命するもの。



大迫 雅彦 氏

顓娃町別府

任期 H31年1月8日
H35年1月7日



人事案件

編集後記

議員になった当時、議会広報誌は議会事務局職員が編集していたが、各地の議会と同様に議員自ら広報誌の編集を行うようになった。またパソコンが普及していない頃で編集にかなりの日数を要していた。参加した広報研修会では、誌面の読みやすさなど講師から指摘を受けるばかりであった。今では、パソコンを導入し、編集日数も短縮されてきたが、読者にとって読みやすい誌面になっているか気にかかる。

昨年、研修した大阪府八尾市の議会広報誌は、高校生の描いた絵を表紙に掲載しており、その迫力に目を奪われた。そして、編集に当たり、これまで若い世代に視点を向けていなかったことを気づかされた。これからは、幅広い世代に見てもらえる議会広報誌を目指していきたい。

(松久保)

▼広報編集委員会

委員長 鮫島 信行
副委員長 日置 友幸
委員 米満 孝二
大久保太智
内園知恵子
松久保正毅



◎発行：鹿児島県南九州市議会
TEL 0993(83)2511

◎編集：議会広報編集委員会
FAX 0993(83)4658

◎発行責任者：伊瀬知 正人
ホームページ <http://www.city.minamikyushu.jp>